

イワタバコ科植物

キリータについて

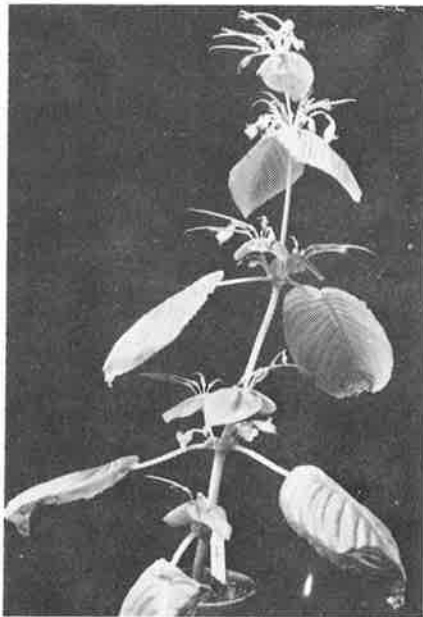
中山 長 秀

現在、当園ではセントポーリアの園芸種を中心にイワタバコ科植物の収集につとめ、約23属80種栽培保存している。

キリータは東南アジアに約100種分布する一年草あるいは多年草である。昭和54年に一年草キリータ6種をバーゼル植物園（スイス）より導入し、試作を始めた。種子が小さいため、水ゴケをきざんだものを種用土として用いた。また、栽培用土も水ゴケ単用とした。栽培場所は温室の棚下である。

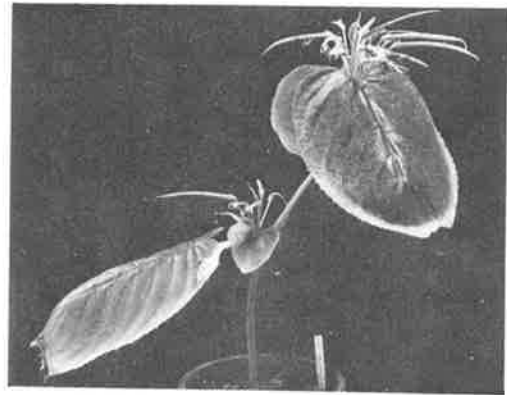
表 キリータ6種の生長記録

種名	は種	移植	開花	花色	草丈	採種日
<i>Chirita horsfieldii</i>	昭和54年 5月29日	8月18日	11月上旬～昭和55年 3月下旬	淡青	30～40 ^{cm}	昭和55年 3月30日
<i>C. involucrata</i>	5月29日	8月18日	11月上旬～2月下旬	淡青	30～40	2月25日
<i>C. lavandulacea</i>	5月29日	8月18日	11月上旬～3月上旬	淡青	60～80	3月5日
<i>C. micromusa</i>	5月29日	8月18日	10月中旬～12月下旬	黄色	5	1月10日
<i>C. elphinstonia</i>	5月29日	発芽せず				
<i>C. hamusa</i>	5月29日	発芽せず				



C. lavandulacea

節は3～6で、下から2～3段の葉腋から対生葉をもつ茎を出す。



C. horsfieldii

節は2。葉腋から対生葉をもつ茎は出さない。

キリータ2種の形態のちがいを